（　　）

「ごめんね」

と言ったら許してくれると思っていました。

私は茉莉子が友達でよかったと思います。

しかし、桃子は最後にはたぬきのダンスを見て瑞希ちゃんにあやまる決意をして走りだします。

私は、瑞希ちゃんは桃子のことを待っていると思います。瑞希ちゃんだって桃子と元通りに仲良くなりたいに決まっています。

私は、このお話を読んで、桃子と瑞希ちゃんが、私と茉莉子みたいではらはらしながら読んでいましたが、最後に桃子が走りだしてくれて、ほっとしました。

私は茉莉子とずっと仲良くしていきたいと、あらためて思いました。

R's